



2025年6月20日

各 位

会 社 名 株式会社ワキタ
代表者名 代表取締役社長 脇田 貞二
(コード番号 8125 東証プライム市場)
問合せ先 取締役総務部長 成山 敦彦
(TEL. 06-6449-1901)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は2025年6月20日開催の取締役会において、当社グループの持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るべく、前年度に公表いたしました、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の現状を分析・評価し、「2028 中期経営計画」の方針・戦略を取り入れ、改善に向けた今後の取組をアップデートいたしましたのでお知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご覧ください。

以 上



WAKITA

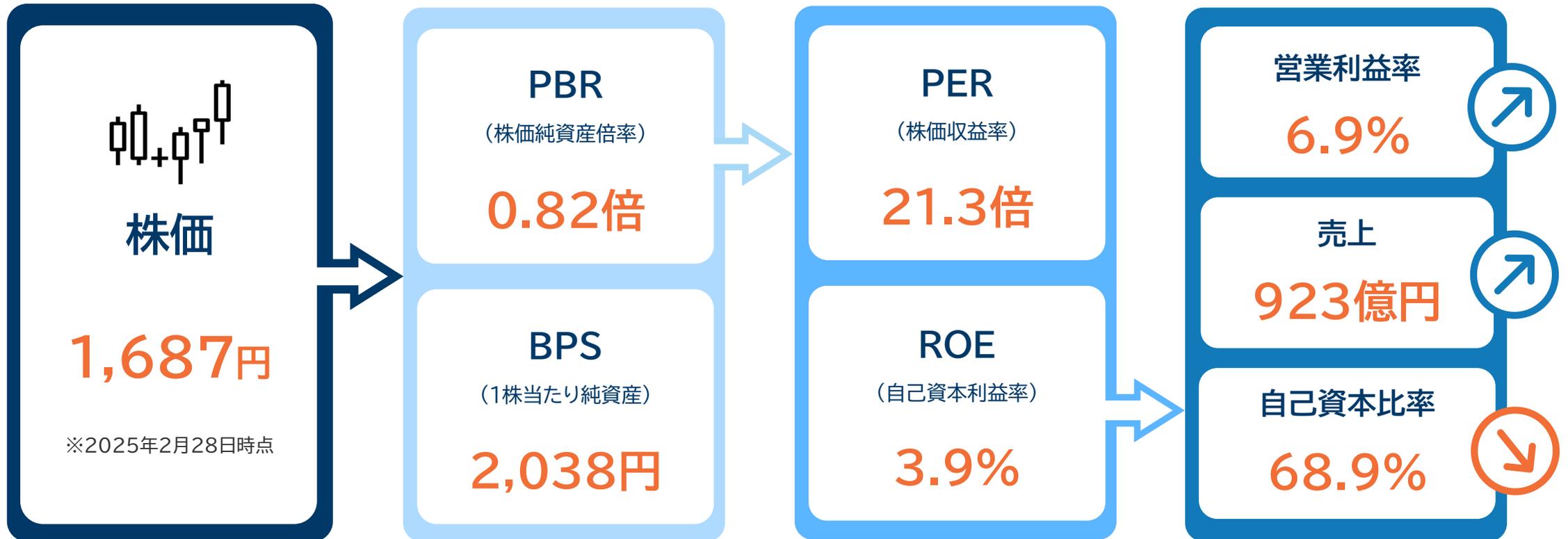
資本コストや株価を意識した経営 の実現に向けた対応

株式会社ワキタ
2025年6月20日

東証プライム
8125

UD FONT
by MORISAWA

- 当社グループは、建機・商事・不動産の3事業で、お客さまと社会の課題解決に応えるソリューション提供カンパニーとして、持続的に成長を続けるものの、PBRは0.82倍と1倍に届かない水準で推移。
- PERに関しては21.3倍と東証プライムの平均値16.3倍(2025年2月末)を上回るもののROEは3.9%の水準にとどまった。
- 事業基盤の強化と株主還元を進め、ROEの更なる向上と高水準で推移するPERの維持強化が必要であると、捉えております。



※各指標は2025年2月期の連結決算数値から算出

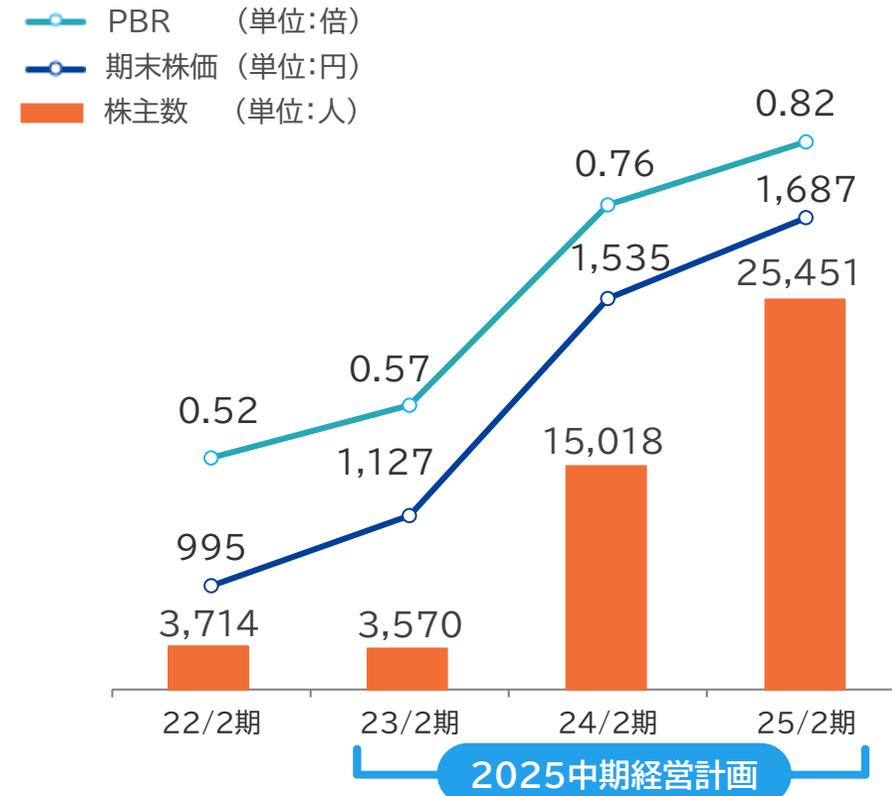
PBRと株価と株主数の推移

- 「2025 中期経営計画」の成長戦略を推進。加えて、IRの拡充及び株主還元の強化に取組み、PBR・株価・株主数ともに堅調に推移。当社の取組と方針は株式市場で一定の支援をいただいたと推察。

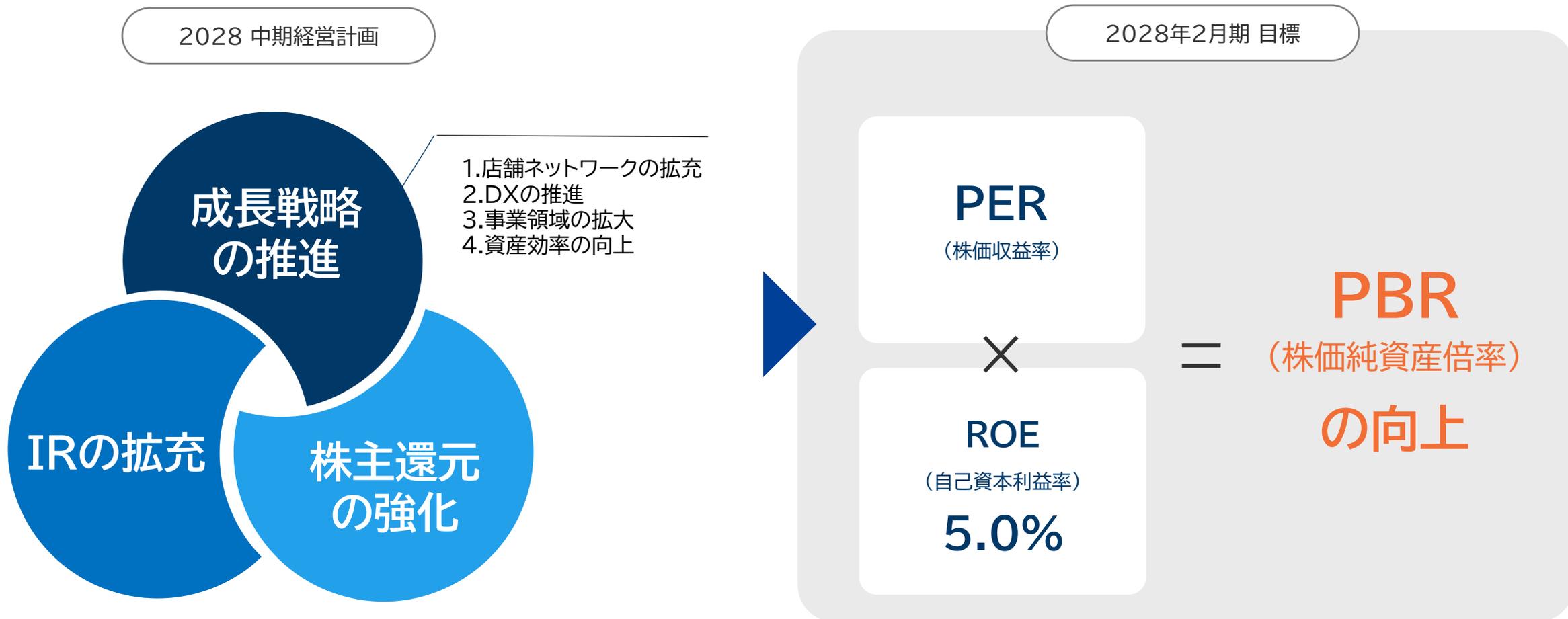
成長戦略の推進



PBR・期末株価・株主数の推移



- PBR向上への課題を特定し、その対策を組み入れた「2028 中期経営計画」を策定。
- PBRの改善を継続し、企業価値向上のために「成長戦略の推進」「IRの拡充」「株主還元の強化」を推進。
- 飛躍への基盤を着実に構築し、通過点であるROE5%を達成し、PBRの向上を目指す。



※「2028 中期経営計画」:<https://www.wakita.co.jp/ir/medium.html>

01

成長戦略の推進

事業領域の拡大と店舗
ネットワークの拡充で
売上高を伸長

DXの推進と資産効率
向上で収益力を強化

人材戦略の推進により
企業成長とのサイクルを確立

02

IRの拡充
(投資家との対話)

IR説明会を年3回開催
(機関投資家向け:1回)
(個人投資家向け:2回)

機関投資家面談:35社
(2025年2月期実績)

対話内容は取締役会へ
フィードバック

03

株主還元の強化継続

3年間の配当政策として、
1株当たり配当金を100円
以上に設定

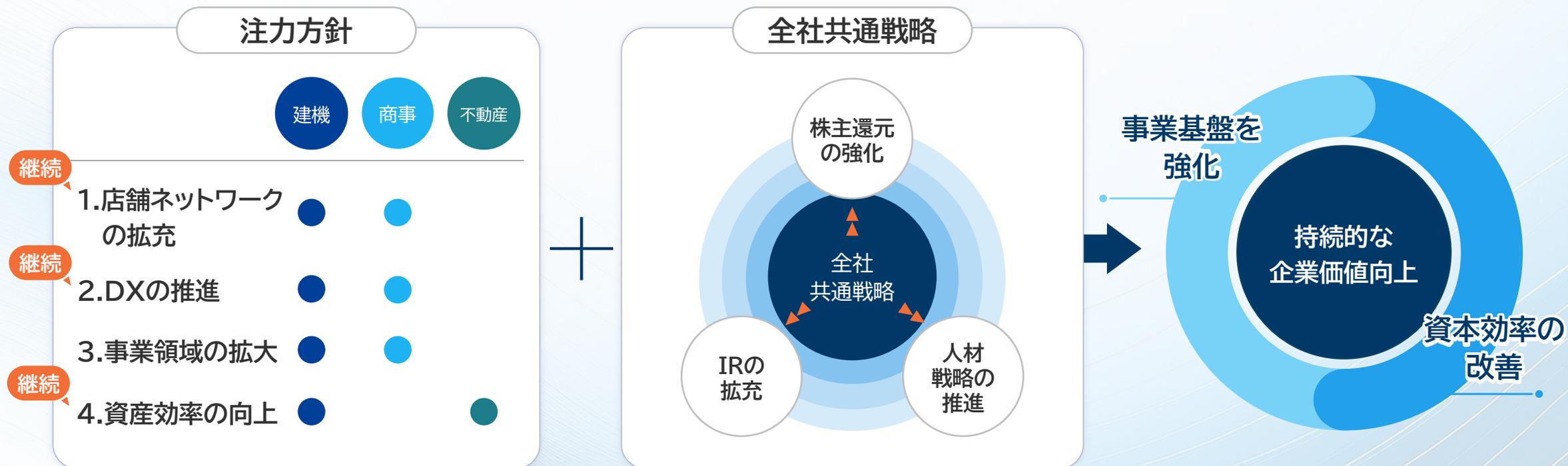
当面の自己資本を抑制し、
ROEの向上を目指す

Appendix

①成長戦略の推進

2028 中期経営計画 (2026年2月期～2028年2月期)

～飛躍への基盤造り～



数値目標(連結)

- 本3カ年は長期的な飛躍のための「基盤造り」の期間とし、人的・物的先行投資を行う
- 収益力を引き上げるとともに、株主への還元を進め、各数値目標の持続的な向上を目指す
- 各数値目標は通過点と位置づけ、長期的に更なる成長と向上を目指す

(単位:億円)

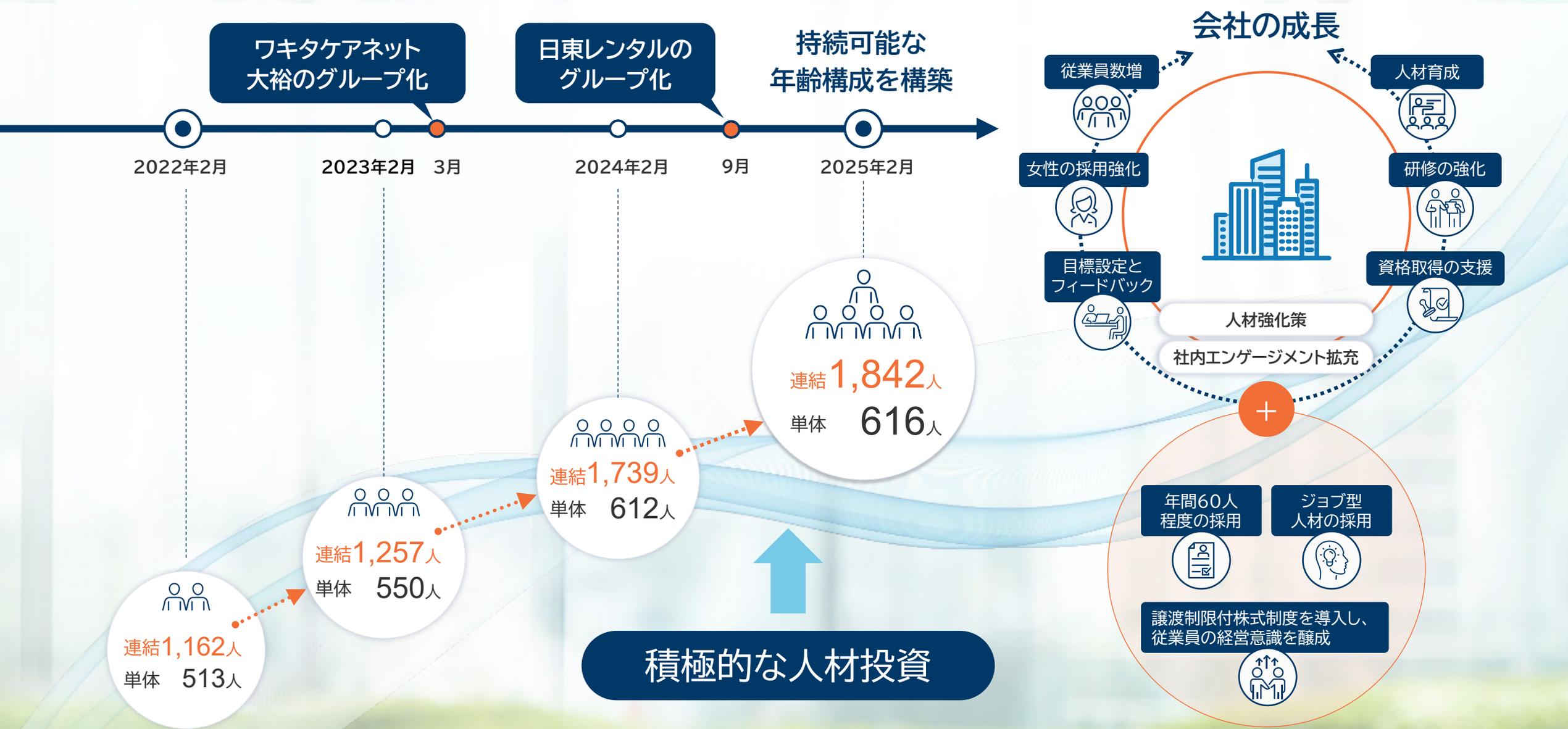
	2025年2月期(実績)		2028年2月期(計画)		2025年2月期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	923.2	-	1,110.0	-	+186.7	+20.2%
営業利益	63.9	6.9%	77.0	6.9%	+13.1	+20.5%
EBITDA	144.4	15.7%	161.0	14.5%	+16.5	+11.8%
ROE	3.9%	-	5.0%	-	+1.1pt	-

セグメント別数値目標

- 建機事業：引き続きレンタル価格・販売価格の適正化を推進、売上高を伸ばしつつ、利益率の改善を進める
- 商事事業：介護部門では現業の効率化と丁寧な店舗ネットワーク展開を進め、拡大する需要の更なる取り込みを図る
- 不動産事業：リノベーションによる資産価値向上を推進。ポートフォリオのバランスをとりつつ、将来性を勘定した物件売却も検討

(単位:億円)

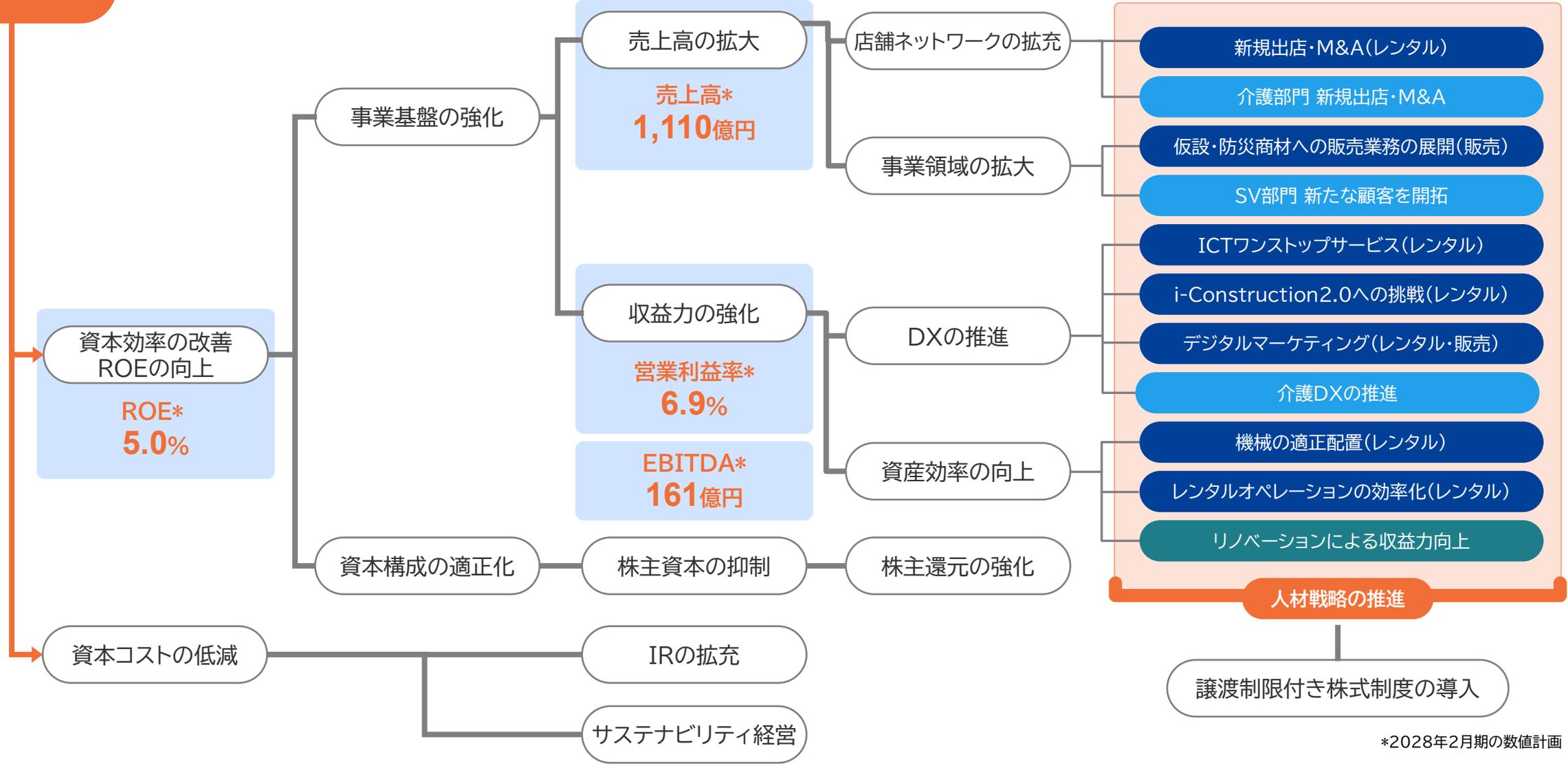
		2025年2月期(実績)	2028年2月期(計画)	2025年2月期(実績)比	
		金額	金額	増減額	増減率
建機事業	売上高	742.5	918.0	+175.4	+23.6%
	営業利益	33.1	45.0	+11.8	+35.8%
	(営業利益率)	4.5%	4.9%	+0.4pt	
商事事業	売上高	105.7	130.0	+24.2	+22.9%
	営業利益	5.7	10.0	+4.2	+74.8%
	(営業利益率)	5.4%	7.7%	+2.3pt	
不動産事業	売上高	74.8	62.0	△12.8	△17.1%
	営業利益	25.0	22.0	△3.0	△12.1%
	(営業利益率)	33.4%	35.5%	+2.1pt	



2028 中期経営計画のまとめ

企業価値の向上

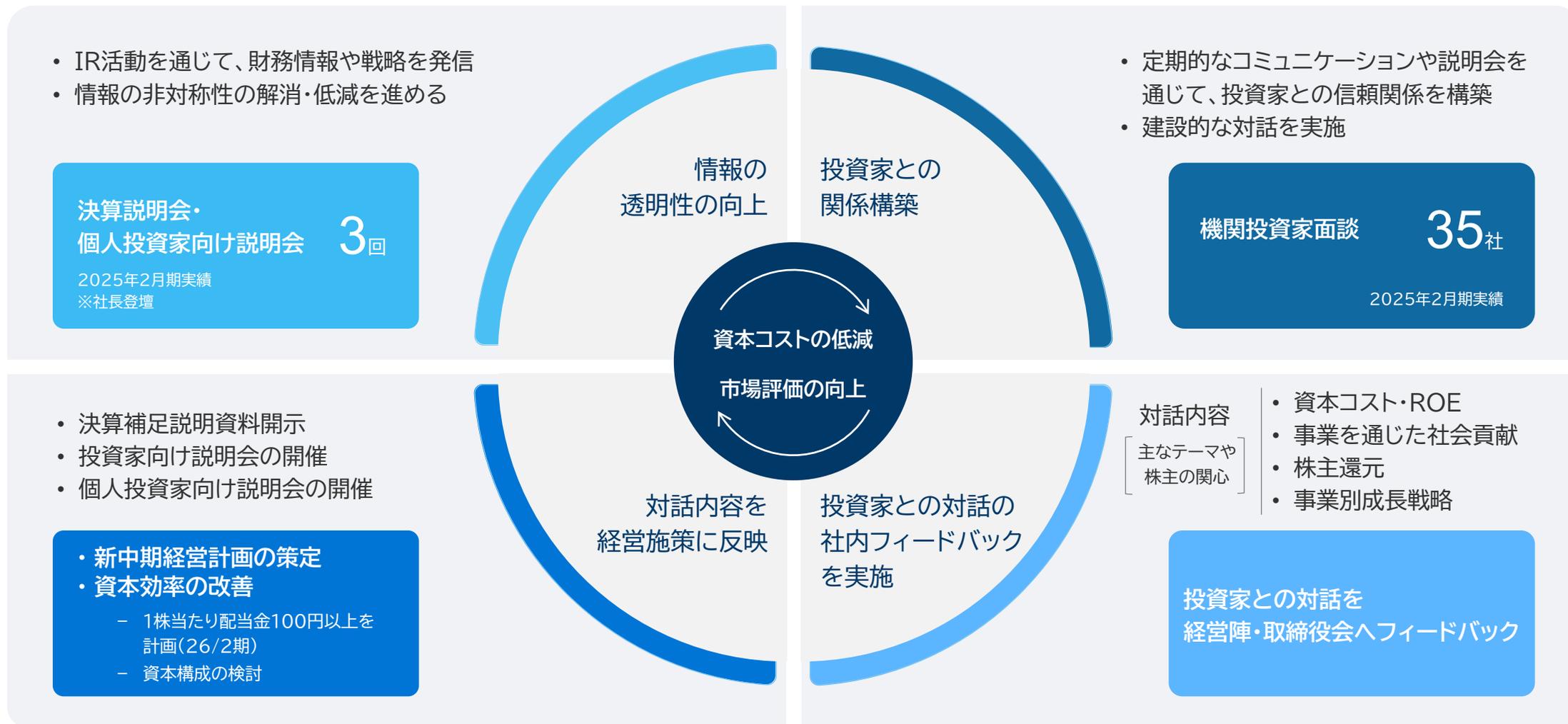
- 全社方針
- 建機事業
- 商事事業
- 不動産事業



*2028年2月期の数値計画

②IRの拡充

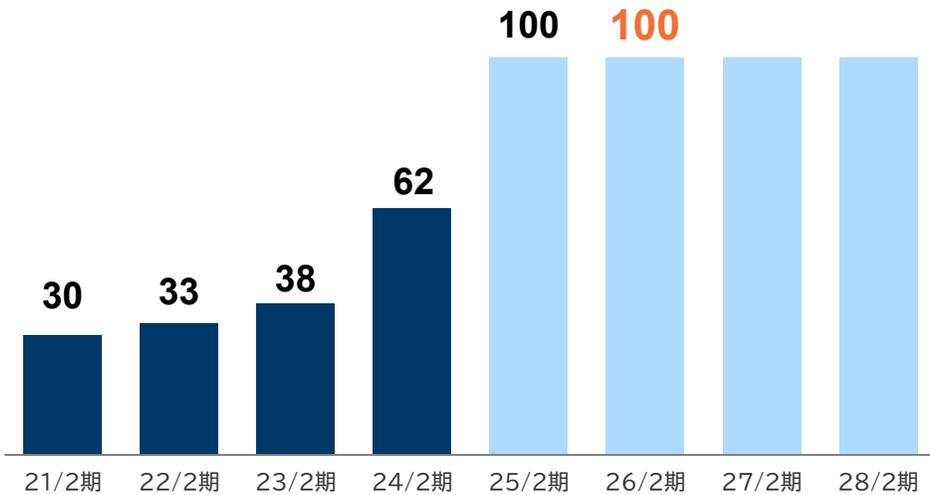
- 情報の透明性の向上、投資家との関係構築を進めることで資本コストの低減を推進
- 投資家との対話内容は、随時、経営陣や取締役会へフィードバック、対話を踏まえて各種施策を取り入れ、企業価値向上を目指す



③株主還元強化

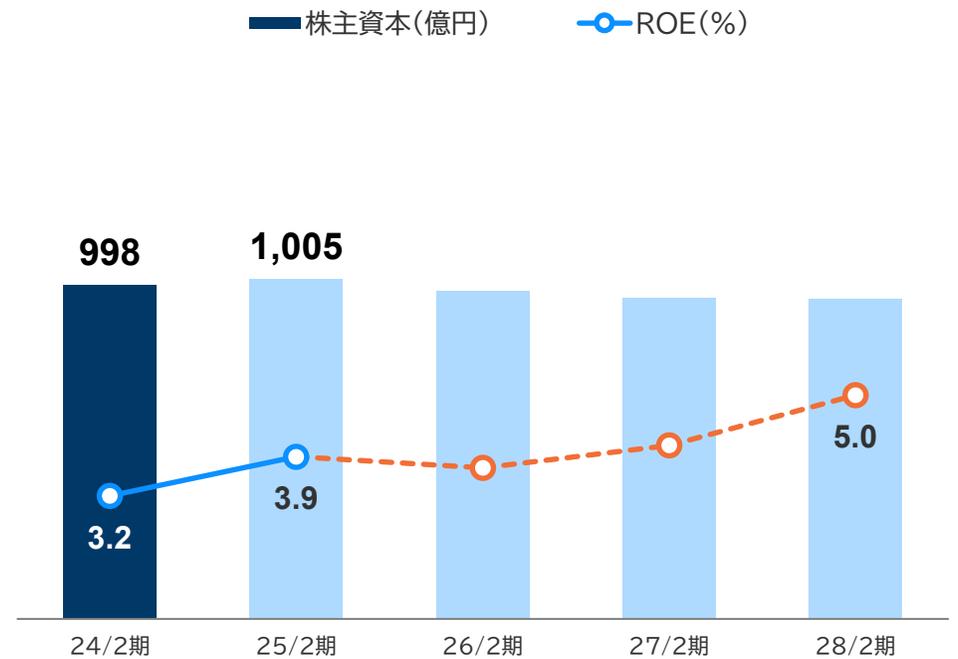
- 強化した株主還元を継続することで、株主資本を抑制、ROEの上昇、企業価値の向上を目指す
- 中期経営計画期間中の配当政策としては、1株当たり配当金100円以上を予定

配当金等の推移(円)



計画

株主資本とROEの推移



計画

免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。更に、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

IRお問合せ先

総務部

TEL 06-6449-1901

E-mail info-soumu@wakita.co.jp
